

【活用方法2】:

「子どものつまずきの背景に応じた有効であると考えられる授業の工夫点を参考にしたい」場合

活用に当たっては、「授業の工夫点チェックリスト2」(p.11~22)を使用します。

授業の工夫点チェックリスト2 (A~Tはつまずきの背景)

チェック	授業場面	設問番号	授業場面における工夫点	工夫点の詳細掲載ページ
<input checked="" type="checkbox"/>	C 記憶力の弱さ			
<input checked="" type="checkbox"/>	(4)-①授業の導入	①-1	前時の復習をしている	p. 46
		①-2	小テスト等を活用している	p. 47
		①-4	活動の流れを示している	p. 37 p. 38
	(4)-②授業の展開	①-5	学習のねらいを理解できるような教材の提示や活動をしている	p. 49 p. 50
		②-3	ペア学習や班活動等を取り入れて円滑に行えるように配慮している	p. 53
		②-5	児童生徒が発言しやすくなるように配慮をしている	p. 55
		②-6	聞くとときと作業するときを分けている	p. 31
	①	分かれやすい言葉を估は、箇条書きしている	p. 47	

図2 「授業の工夫点チェックリスト2」の例

以下に活用手順を示します(図2参照)。

ア 自分の学級に在籍している子どものつまずきの背景に☑を入れる。

※図2は、「C 記憶力の弱さ」というつまずきの背景のある子どもが学級にいる場合の例です。

イ ☑を入れた項目の有効であると考えられる授業場面における工夫点を確認する。

※図2の例では、「C 記憶力の弱さ」というつまずきの背景に対応した「授業の導入」における工夫点が3点示されています。この例では、その中から「前時の復習をしている」という授業場面における工夫点を選択した場合の例を示しています。

ウ イで確認した工夫点について、より詳しく知りたい場合には、右の「工夫点の詳細掲載ページ」のページ数を確認した後に該当のページを開き、そこに書かれてある詳しい解説や具体的な工夫例等を読む。

エ 解説や工夫例を参考として、今後の授業の組立てを考え授業の中で活用する。